

2026年度（令和8年度）事業計画（案）

児童養護施設 山家学園

1 施設を取り巻く現状と課題

（1）事業の種類及び利用定員

- ① 施設入所事業 定員 24 名
- ② 子育て支援短期利用事業 定員 6 名

（2）県市町村等からの受託、補助事業等

- ① 由布市要支援対象児童等見守り強化事業
- ② 由布市ファミリーサポートセンター事業
- ③ 自立生活支援事業（施設機能強化推進費）

（3）地域における公益的な取組

- ① 神社清掃活動
- ② 地域住民としての区の活動
- ③ 地域連携防災活動

（4）運営方針

全般的に児童数が減少傾向にある中、児童虐待件数は増加している現状を踏まえ、児童養護施設の高機能化の取組として、内外の研修の積極的参加など自己研鑽に取り組むことによる支援スキルの向上をもって、重篤な背景を持ち支援に専門性が求められる子どもの入所をも受け入れ、家庭養育優先原則・パーマネンシー保障の原理のもと、短期の入所期間であっても、できる限り良好な家庭的環境を整え、入所定員を確保していきます。入所する子どもの権利擁護の実践として、日常的な支援体制のチェック機能を果たすこと、子どもアドボケイトの積極的導入により、子どもの意見・意向表明の支援を行います。また、将来的な進路を見据えたリービングケア及び施設出身者の継続的なアフターケアについて、関係機関と連携し実践していきます。さらに、専門性を活かした地域支援として、自治体と連携し、地域の支援を必要とする子どもや家族の支援体制を充実させ、地域の子育て支援の拠点として機能するべく、施設の高機能化・多機能化の取り組みを進めていきます。

2 施設の実施策と取組の方向性

(1) 職員が働きやすくやりがいを感じられる職場づくり

ア 福祉・介護業界のイメージアップを図り、多様な働き方を推進する。

実施施策	各種休日の取得しやすい労働環境
現状と課題	年次有給休暇の計画的取得は、可能となってきたが、自主的な取得計画や申出は出来ていない。
取組の方向性	相互に声かけし、自主的に、個々の生活スタイルに合った休暇の取得をしやすい環境づくりを行う。

イ OJT 制度を中核に職員一人ひとりを育成し、チームケアを推進する。

実施施策	園内研修の充実
現状と課題	研修委員会を中心に園内研修の年間計画を立て、毎月様々なテーマの研修を実施している。
取組の方向性	トラウマインフォームドケア等マニュアル化できる支援方法を学び、職員個々の支援の質の向上とチームケアに繋げる。

ウ 職場風土を改善し、職員の定着率とモチベーションを高める

実施施策	互いに助け合い高め合う風土づくり
現状と課題	自身の業務遂行に意識が偏り、全体の業務を共有して効率的に進める事ができていない。
取組の方向性	常に情報交換を行い、業務内容を共有することで、互いに助け合い、全体の業務を効率的に質の高いものにしていく。

エ 業務の生産性を高め、ワークライフバランスを推進する。

実施施策	効率的に業務遂行し、個々の生活に沿った各種休暇の取得を推進する。
現状と課題	業務の優先順位の組み立てや時間配分について、計画に曖昧な面が多く見られることにより、休暇取得を計画する余裕がもてない傾向にある。
取組の方向性	チームケアのもと、職員全体での協力体制を作ること、より効率的に業務に取り組み、個々の生活に沿った休暇の取得を躊躇なく行える周囲のフォロー体制も構築していく。

(2) 利用者児の生活を支えるサービスの質の向上

ア 先進的で魅力あるサービスを提供し、サービスの質を高める。

実施施策	子どもの権利擁護と意見・意向表明支援の充実
現状と課題	子ども一人ひとりと向き合う支援体制と関係性の構築を意識して支援している。意見・意向表明支援として、子どもアドボケイトの受け入れを行い連携に努めている。
取組の方向性	児童一人ひとりとの関係性をより深く築くことを大切に支援し、子どもの意見・意向表明支援として、子どもアドボケイトの積極的受け入れと連携を深め、支援の充実を図る。

イ 安心安全で快適な暮らしを保証し、利用者児の満足度を高める。

実施施策	法人内施設間協力のもとでの防災・防犯対策
現状と課題	法人内施設間の防災組織体制づくり・合同訓練の実施に取り組んでいる。
取組の方向性	改善を繰り返しながら、法人内施設間防災組織を整備していく。

ウ 施設機能を積極的に開放し、地域とのつながりを強化する。

実施施策	地域の子育て支援の拠点を目指す
現状と課題	由布市の受託にて要支援児童等見守り強化事業及びファミリーサポートセンター事業を実施している。
取組の方向性	由布市こども家庭支援センターと連携し、地域の子育て支援の新たな事業の取り組みを行っていく。

(3) 安定的で持続的な経営基盤の確立

ア 収入の安定確保と経費増大の抑制で、安定性の高い財務体質を維持する。

実施施策	入所定員を満たすこと、また、ショートステイ利用拡充を行う。
現状と課題	入所児童減員の現状があり、短期の入所期間での家庭復帰等のケースが増加傾向にある。
取組の方向性	入所児童を確保すること。また、ショートステイ受け入れ体制の改善により、利用件数を伸ばす。施設

	の多機能化の取組を進めていく。
--	-----------------

イ 中長期的な視点をもって、持続性の高い経営を行う。

実施施策	施設整備について見通しを立てて進めていく。
現状と課題	施設外周の整備や内部の修繕など進める必要がある。
取組の方向性	児童の生活環境を整えるための施設整備について、見通しを立てて計画し、それに伴う収入確保のため、入所児童及びショートステイ利用者の確保、また、施設の多機能化の取組を進め、収支のバランスを追求していく。

ウ 組織内の連携を強化し、強固な組織体制と経営基盤を確立する。

実施施策	事業計画に対する目標設定
現状と課題	限られた人員の中で目標達成のために組織としてどのように動くべきか、一丸となる意識が不足している。
取組の方向性	限られた人員の中で満足の得られる支援体制をつくることやショートステイの受け入れ、また、地域の子育て支援などの多機能化の取り組みに対して、個々の目標をもって進めていく。

3 目標利用率

事業名	定員	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
施設入所	24	83	92	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	97.9
子育て短期	6	60	60	60	60	60	60	50	50	50	50	50	50	55

4 固定資産物品購入計画

(単位:千円)

名称	執行見込額
構築物 グランドコンクリート	5,000
構築物 グランド芝生	2,000

5 修繕計画(大規模修繕を除く)

(単位:千円)

名称	執行見込額
グランド整備(砂地)	3,000

6 大規模修繕計画

(単位：千円)

名称	執行見込額

令和8年度 年間行事計画表(案)

山家学園

月	施設行事(全体)	施設行事(各ユニット)	学校行事	施設計画
4	担当発表 新年度お楽しみ会 中学校との連絡会 小学校との連絡会	児童部屋替え 蛇口地区祭	始業式・入学式 PTA総会・家庭訪問・身体測定 内科検診・歯科検診(4～6月実施) 遠足(小)	防災計画
5		GWお楽しみ会 内科検診	修学旅行(小) 遠足・社会見学・PTA総会 身体測定・体育祭(庄中) 高校総体	消防設備点検
6		衣替え(衣類購入)	衣替え・社会見学(小) 中体連	定期健康診断 冷房器具点検
7	地域交流会 一泊旅行		期末PTA 終業式・夏休み	定期健康診断 夏休み計画 実習生受け入れ
8	夏季一時帰宅 学園夕涼み会 卒園生との交流会	十七夜観音祭 大掃除・ 不帰宅者お楽しみ外出 児童養護施設球技大会 (野球・バレーボール)	進路指導 夏休み 廃品回収(小)	実習生受け入れ 町清掃奉仕活動
9			始業式	実習生受け入れ
10	ビッグフェスタ in 庄内厚生館	衣替え(衣類購入) 児童養護施設サッカー大会	衣替え・修学旅行(庄中) 運動会(小)	くん煙消毒(調理場)
11	地域ふれあい交流会	庄内町ふるさと祭り 児童養護施設卓球大会	遠足(小) 文化発表会(庄中) 学園祭(高校)	暖房器具点検・消防設備点検
12	クリスマス会	インフルエンザ予防接種 内科、歯科検診 冬季一時帰宅 大掃除・不帰宅者お楽しみ会 大晦日	終業式 冬休み 持久走記録会(小) 少年の翼	総合避難訓練 深夜業健康診断 第三者評価自己評価
1	冬季一時帰宅	元旦 初詣 不帰宅者お楽しみ外出 合格祈願	始業式 私立高校入試	大分県指導監査
2		節分	私立・県立推薦入試	くん煙消毒(調理場)
3	卒園生を送る会	卒業旅行	卒業式(小・高)・期末PTA 中学入学説明会 終了式 県立高校入試	実習生受け入れ
毎月	衛生委員会 職員会議・ケース会議・研修・行事委員会・園長会議 ユニットリーダー会議 実務者会議 本人支給金 ソーシャルスキルトレーニング(2ヶ月1回) 研修委員会	奉仕活動(地域清掃・施設交流) 会議 スポーツクラブ 買い物活動 ユニット外出行事		避難訓練
招待		ソフトバンク観戦 トリニータ観戦		